

# 貝藻くん NEWS

第6号 (2022年7月)



全国各地での貝藻くんの成果に関する最新事例を報告します。

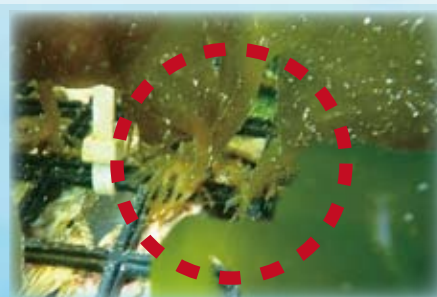
**10,000 基**

今年度、愛媛県松山市でオプション付き貝藻くん（タコ産卵セパレートタイプ）が21基採用され、2013年の貝藻くん販売開始からの設置数が29都道府県で合計1万基を超えました！これも皆様のご支援ご愛顧によるものと、感謝申し上げます。今後とも、「小型貝殻ブロック 貝藻くん」をどうぞよろしくお願いたします！

## 貝藻くん活用による藻場の造成事例

### 【和歌山県】

太地町では、漁業者が貝藻くんにヒロメ種苗を取り付けて設置しました。2022年3月の設置1カ月後調査では、ヒロメの仮根が基質のメッシュや貝殻にしっかりと絡みつき、順調に生長している様子が確認できました。



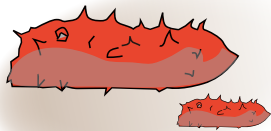
### 【熊本県】

津奈木町では、設置1年1カ月～3年1カ月後の貝藻くんにアカモクが着生していました（最大22個体/基、最大藻長320cm）。アカモクの周囲では全長2～3cmのメバル幼魚の群れや放流カサゴ、大型ナマコも確認でき、調査後の報告会で漁業者の方に「今後も継続していきたい」と言っていただきました。



貝藻くんのアカモク着生効果と魚介類の育成効果が、本調査で確認されました！





# 北のナマコ事例



▲マナマコ (体長 12 cm)

## 北海道南西部

2022年6月13日・14日調査

漁港内に設置された貝藻くんには、マコンブが繁茂し稚ナマコが付着していました。貝藻くんを引き揚げて内部の貝殻を調査したところ、体長 0.5 ~ 14 cm のマナマコが約 300 尾出現しました。貝藻くんを含む岸壁側は**稚ナマコの生息場**となっており、成長に伴い漁港の中央部へ分布を広げた大型個体が漁獲対象となっているようでした。



▲貝殻に付着していた稚ナマコ



▲エゾアワビもいました



▲引き揚げた貝藻くんから出現したマナマコ



▲マナマコの生息密度 (目視観察)

## 青森県

2022年4月20日調査

陸奥湾内の貝藻くんでは、表面やケース内部に小型の個体を中心にマナマコが分布していました。貝藻くんから離れた海底にはマナマコがほとんど見られなかったことから、貝藻くんを設置したことにより、**ナマコの生息場**が新たに生まれ、今後は漁場としての利用も期待されます。



▲引き揚げ調査で捕獲されたマナマコ

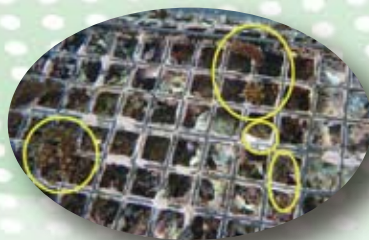


▲大型のマナマコも見られました

## 岩手県

2022年4月5日調査

宮古市海域に設置された貝藻くんでは、小型のマナマコ (平均体長 4.7 cm) が多く確認されました。また体長 15 cm までのマナマコは、ベースコンクリートや下部空間に多くいました。今回の調査で貝藻くんが**ナマコ放流種苗の受け皿**として機能していること、中型個体までの**生息場**として効果が発揮されていることが考えられました。また高水温期の**夏眠場**としての利用も今後期待できそうです。



▲小型のマナマコ



▲マナマコ (体長 5 cm)



# タコの事例



近年漁獲量が減少しているマダコを増やそうと、各地で貝藻くんを使用した取り組みが行われています。

貝藻くんを設置している広島県広島市や、愛媛県伊予市の効果調査では、抱卵マダコや孵化跡が多数確認され、貝殻基質内部からもマダコが出現しています。岡山県玉野市でも、引き揚げた貝藻くんの貝殻基質を調査したところ、稚ダコが4個体確認されました！



タコツボ付き貝藻くん

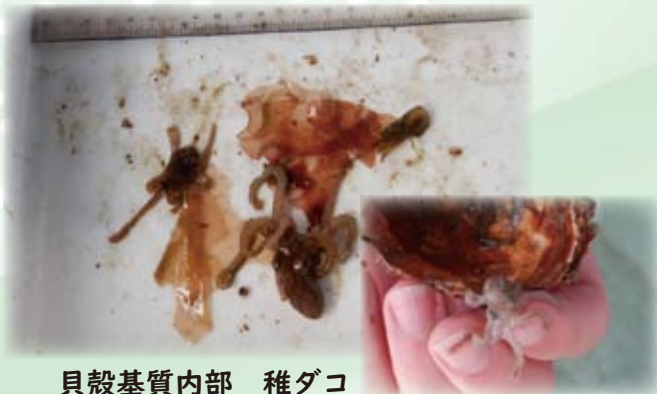
## 広島県



産卵マダコ



マダコ孵化跡



貝殻基質内部 稚ダコ

## 愛媛県



産卵マダコ



マダコ利用跡



貝殻基質内部 稚ダコ

## 岡山県



引き揚げた貝藻くん



引き揚げた貝藻くんの調査



稚ダコ4個体 (貝殻基質内部)

# 貝藻くん継続事業の効果調査報告

## 【島根県 益田地区海域保全協議会】

事業名：水産多面的機能発揮対策事業

採用年度：2016～2021年度

採用基数：160基

設置場所：益田市内の漁港



クロメ



ワカメとクロメ幼体



ホンダワラ類

漁業者がクロメの種系を取り付けた貝藻くんを設置し、その後も定期的に海藻移植プレート  
の取換、取付作業を続けた結果、クロメは仮根をしっかりと貝藻くんに絡ませ生長していました。  
また新たなクロメ幼体やワカメ、ホンダワラ類も着生するなど、貝藻くんによる藻場が形成  
維持されていました。その他、アワビやナマコなども生息する様子が確認されています。

## 【長崎県 美津島町高浜漁業集落】

事業名：離島漁業再生支援交付金

採用年度：2015～2019年度

採用基数：252基

設置場所：高浜漁港内（浮桟橋周辺）



クエ幼魚



カサゴ



マダイ



ナマコ



アミ類



コウイカ卵



貝藻くん周囲には餌となる小型のハゼ類やアミ類が多く集まる餌場となっており、下部の  
空間はクエ幼魚が隠れ場として利用しています。この地区で種苗放流を行っているカサゴや  
クエ、マダイが良く集まっていることから、貝藻くんが種苗の受け皿として有効に機能し  
ていることがわかり今後、保護育成場としての機能がより高まることが期待されます。